

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

令和7年度 グループホームせせらぎ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	住み慣れた地域で生活するという意義をふまえ、事業所と地域の関係性を大切にした理念を共有して実践につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会には施設を知ってもらうため新聞を発行していたが、続けていくことは難しく交流する機会には至っていない。利用者は住み慣れた地域で生活をしているという実感が持てるように、食事で提供する野菜は一部を農家から配達してもらい、農家さんにも事業所のことをわかつてもらいう交流している。	・地域との関わりについては年に1回「こんなことがありました」と紹介するなど新聞に載せてみてはどうでしょう。 ・避難訓練に地域の方に参加してもらうなど。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に6回運営推進会議を開催している。運営推進会議を活用した外部評価では自己評価を外部へ表し、話し合い行っている。	・運営推進会議に2回出席しているが、まだ具体的に評価をできる状態ではない。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では市の担当者・地域包括支援センターの担当者に出席してもらい、事業所の実情やサービス内容を積極的に伝え、理解を得ながら協力関係を築けるように取り組んでいる。	・お互いに情報交換ができる。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は転倒し骨折をしてしまうと、状態の低下によりさらに、転倒を繰り返すことが多くなる。センサーの設置については、適切な使用を心がけ、ケアの内容を介護記録に残し、定期的に解除に向けた検討会を行っている。	・2ヵ月に1回の運営推進会議にて身体拘束委員会から状況報告を受けていが、安全性の確保のため身体拘束が必要不可欠な状況であり、身体拘束解除となる例は少ないが、リスク管理の視点では致し方ないと感じる。 ・解除に向けた検討会を定期的に行っており運営協議でも状況説明がなされている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止委員会を中心に虐待防止について話合う機会を設け、普段のサービスでの気づきにつなげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい業務の中でも委員会を中心に話し合う場を設けていらっしゃるので良い学びだと思います。 ・内部での話し合いは行われているようなので、外部研修も活用しながら更なるサービス向上も期待します。 	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	機会があれば外部の研修にも参加する。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	制度を学ぶ機会は過去にはあったが、現在は対象となる利用者はいなく身近な制度という認識には捉えられない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時契約書の内容を説明し理解を得ている。契約書の内容に変更があった場合もその都度説明し署名・押印を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年に1回開催されている運営推進会議を活用した外部評価では、家族にアンケートを募り結果を会議で表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族のご意見を都度表示していただいているため充分だと思います。 ・家族へのアンケートを実施し、結果を会議で共有することでサービスの向上につなげている。 	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族アンケートでの要望なども受け入れ対応していく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者へは業務についての改善や利用者へのサービスに関しての提案など聞いてもらえる機会はあるが、反映としては難しく既存のやり方とどまる結果となることも少なくない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	代表者は休日には各施設を訪問し利用者と触れ合い、職員に声をかけるなど気を配っている。職場環境改善事業補助金の申請など給与水準に反映している。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見・要望は把握し反映しているか。 ⇒職員の意見や要望は代表者へ伝えている。慎重に検討した結果、既存のやり方にとどまることが多い。 ・運営推進委員のメンバーはこのことに関しての評価は難しい。 	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	評価項目10・11について、運営推進会で報告できるようにしていきたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修は学習委員会を中心に活動している。調剤薬局が行う居宅療養管理指導の薬剤師の講師を依頼し薬について、または食中毒についてなど勉強会を行っている。外部へ	<ul style="list-style-type: none"> ・職員さんの学びになるものに、積極的なイメージがある ・内部研修は計画的に行っていることがうかがえるが、外部研修においても積極的に参加することを期待します。 	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外部研修に積極的に参加していく。

				の研修にも可能な範囲で出席している。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所が開く介護相談員派遣事業の三者会議などに出席する機会があればグループワークなどで交流する機会が持てる。また、入居相談時の他事業所のケアマネと交流することもある。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要介護度に応じては介護される立場になってしまうことは否めない。暮らしを共にする者同士お互いを尊重し合えるよう支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居してからも家族や親せき、知人、旅行仲間や職場の部下など面会を対応している。懐かしい人に久しぶりに会えた時の笑顔は支援している側にとっても喜びとなる。外出ができる方は限られるが、希望があれば可能にしている。	・家族以外の方と触れ合う機会はありますか。 ⇒昔からかかりつけ医に入居後も診て頂けるように支援しています。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の過ごし方はそれぞれの意向を聞いてやりたいことを尊重している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の意向を尊重し、実態調査では担当ケアマネからも情報を得て、現状に合わせたうえでよりよく暮らせるように介護計画を作成している。	・様々な意見を取り入れた計画書ができるため充分だと思います。 ・本人・家族・関係者の話し合いの場はあるのか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子については介護計画をもとにケアを実践、介護記録に記入し情報を共有している。状態や様子の変化があればモニタリング、アセスメントにて見直しをしている。	・その都度は話合うことができいらっしゃると思います。 ・自己評価の記述から充分にできているように感じるが、ほぼできている。にとどめているのはどうしてか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

					⇒カンファレンスや会議は出席者の確保が難しいことが多い。		
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望で美容室への送迎や、突発的な体調の変化の対応、買い物や診療費の支払いの代行などケアプラン以外でのサービスも柔軟に対応している。	・包括支援センターでのイベントに参加できなかったという理由は何ですか。 ⇒前年度の目標達成項目で地域包括支援センターでのイベントに参加する」という目標は達成できなかった。理由としては利用者のケアを優先し業務に追われてしまっていたことです。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の文化祭に作品を出品することは恒例になっており、何か月も前から少しづつ作品作りに励み展示品を観に行くことを楽しみにしている。得意なことに集中して取り組む姿は、本人の豊かな暮らしの支援につながっている。また、介護相談員の受け入れや理美容奉仕など、外部の方と接する機会もある。	・地域との関わりが少しづつ理解できるようになってきた。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入居された時、継続してかかりつけ医に受診できるように支援している。急変時は家族に代わり受診の対応や送迎を行っている。体調の変化についても家族に伝え適切な医療が受けられるように支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院した際、認知症の症状により入院の継続が難しい場合があり、予定より早く退院するケースもあり病院の担当者と連携を取り退院を受け入れている。 状態については情報を共有し支援につなげている。	・多職種連携が図られている。 ・病院との連携が図られている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病状によっては状態の変化に伴い、事業所でできること、できることを説明し話し合いをしている。医療機関	・上記同様 ・病院との連携・支援は図られているように感じるが、話し合いの場に家族は参加しているか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も、家族・関係者と話し合い本人や家族にとってより良い支援ができるように取り組む。

		説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる		と連携し最期を安心して迎えられるように支援し取り組んでいる。	⇒状態を説明し今後どのように過ごしていくか、家族とよく話合っています。		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署の協力を得て、心肺蘇生の研修を実施し、緊急時対応できるように訓練している。	・昼夜帯の避難を想定した訓練を実施されている。 地域常民との合同避難訓練を実施することにより、協力体制をより現実的なものにすることを期待する。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間帯・日中帯での想定をした避難訓練を定期的に行っている。地域との協力体制は、運営推進会議を通して自治会の代表者とも協力体制を築いている。	・行政区内の施設であるため、区の代表も訓練に参加し、施設の人員なども把握することでより協力体制を築くことができる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	区の代表者に協力を得て、いざというときの連絡が取れる体制を築いていく。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の生活では職員も方言などの身近な言葉遣いで接することも多い。プライドを損ねないようにニュアンスに注意し丁寧に接している。	・職員さんの普段の関わり方を見ていても気にならることはあります。 ・方言を交えた会話を心掛けるなどして、丁寧な対応をされていると思われる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な一日の流れはあるが、どのように過ごすかは一人ひとり要望を聞いて対応している。その方の得意なことを活かせるように、支援している。お手伝いなどお願いしてやってもらうことが多い。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は当番の職員が手作りのものを提供している。温かいものは温かいうちに、提供する時間に合わせて調理をしている。常食が難しい利用者には安全に食べられるようになめらかな状態に工夫している。また、季節ごとのメニューを計画し盛り付けなども利用者と一緒にを行い、食事を楽しむことができるよう支援している。	・いつも行事の写真を拝見しておりますが、見た目にもおいしそうで利用者さんが喜ばれる姿が想像できます。 ・季節に合ったメニューや行事食があり、初期時を楽しみにできるような工夫がされている。また、一緒に盛り付けなどを行うことで自分の持つ役割にやりがいを感じているのではないかと思われる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分量や食事量はその都度記録しシフト制の職員が全員確認することができる。個別に食事量に応じて栄養補助食品にも頼っている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自分でできる方は、歯磨き、義歯の洗浄、消毒を行っている。できない方は洗面所まで誘導し、声をかけながら、できることは見守り仕上げを手伝うなど口腔衛生に努めている。	・一人ひとりにあった対応ができるようと思われる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄パターンを把握できるように健康チェック表を活用している。尿意を伝えられない方でもわからない方でも、掘まり立ちができるれば可能な限りトイレで排泄ができるよう支援している。オムツの種類も個人の排泄状況に合わせて、使い分けを心がけている。便秘については処方の下剤に頼りがちだが、便秘にならないように配慮している。	・難しい場面でも工夫が見られます。 ・一人ひとりの排泄パターンを把握し、支援しているように感じる。 排泄の自立に向けた取り組みはしているのか。 ⇒身体機能の低下にてトイレ介助が難しくなると、危険が伴うためおむつになるとあります。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が安全に入浴ができるように、必ず付き添い見守りを行っている。利用者の希望のタイミングに合う時間や曜日には職員の確保が難しく業務の都合が優先になっている。利用者の動作に合わせて、話好きな方には会話をしながらゆっくりと入れるよう支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとり日中の活動量に違いはあるが、午睡をする方もしない方もそれぞれ本人のスタイルに合わせている。夜間、睡眠薬を服用しても眠れない時は本人の状態に合わせ危険ないように見守っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修では調剤薬局の薬剤師を招いて薬について勉強会を行っている。利用者が日頃服用している薬について理解を深め、症状の変化を確認できるように努めている。服薬介助時は日付・名前を読みあげ誤薬に注意している。	・すべての利用者様のすべての薬を理解するのは難しいが、体調変化を早期発見するためにも、内服の理解はとても重要であるため、今後も勉強会等で理解を深めていただけだと良いと思います。 ・薬剤師を招いて研修会を開催するなどして薬について理解する場を設けてお	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も服薬の支援に取り組んでいく。

					り、服薬の際も誤薬に注意しているこ がうかがえる。		
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の力を活かしながら、役割や達成感を持ってもらえるように支援している。テーブル拭きや洗濯物干しなどいつもの同じ作業でも感謝の気持ちを伝えている。得意なことや好きなことに取り組んでいる姿にもその方の励みになるような支援をしている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の希望で外泊や外出など誘いがあった場合は、家族と一緒に過ごせる時間を大切にしている。地域の人々と出かける機会はないが、職員と一緒に出掛けることもある。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者はお金を持っていないことへの不安はあるが、本人の小遣いは事務室で管理をしている。必要なものや欲しいものは、担当職員が買い物を代行している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話を持っている方は、自由にかけて話している。要望があれば、事務室の電話を使用しあけて話をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は共用部分には行事担当が季節の飾り物で季節感を感じられるように工夫している。利用者の部屋は個室になっていてトイレもそれぞれに備えられており、プライバシーや衛生面でも心地よく生活が送れるように配慮されている。車イスでも十分に移動できる広さがある。	・いつ伺っても安心して過ごせる雰囲気だと感じています。 ・共有スペースは整理整頓されており移動がスムーズにできているように感じる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は自宅とは違う暮らし方には、思い通りとはならないことが多いができる限り思いに沿った暮らしができるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活歴は実態調査や家族の面会に時などの情報をもとに職員と共有しケア・支援につなげている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は、バランスの取れた食事や状態の観察など健康管理を手伝ってもらい、安全や環境の面でも転倒などケガのないよう配慮され、心身のケア・支援を受けることができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・充分に行えていると思う。 ・健康面・安全面は職員の目が行き届いているように思われる。 ・医療面はどのように支援しているのか。 ⇒医療の面では、医療連携看護師が不在のため、主治医又は協力医療機関の医師に相談しています。 	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は個人用の新聞をとっている方、読書好きの方、その方習慣やペースに合わせて支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は入居の際、または途中でも自宅から家族の写真や書斎のデスク、いつも聞いていたラジオなど大切にしていたものを持ち込み、そばに置いてあることで安心した生活を送っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫が見られます。 ・自己評価の記述から充分にできているように感じるが「ほぼできている」とどめているのはどうしてか。 ⇒大切なものを持つことができている反面状態の変化にともない置いてあるものによって転倒や不穏につながることもあり、ご家族に持ち帰っていただくこともあります。 ・安心した生活を送れることに意味があります。 	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	戸外に出かけられる人は限られているが、本人や家族の希望で外出している。家族とドライブに出かけるなど。			

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりできることは違うためその人に合ったものを頼んで行っている。洗濯物干しやたたみもの、新聞折はみんなで行ったりしている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や知人の面会などの会話では楽しそうに普段では見られない表情がみられる時がある。ほんのひと時でも、家族や知人と暮らしてきた場面が想像することができる。	・一人ひとりの気持ちに寄り添ったご対応ができている。 ・短い時間でも、家族や知人と楽しい時間を作り出せていると感じる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が自分なりの地域の方と交流することはないが、友達や主治医など来てもらったときは交流している。	・自分なりにという部分では難しいこともある。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人は、「ここが自分の居場所」と受け入れて、一緒に暮らす職員と信頼関係を築き安心して生活することができている。	・客観的に見た時に、せせらぎさんで家族がお世話になれたら安心だろうな…と思える関わり方をされていると思います。 ・ホームでの生活が続くことで、職員との信頼関係が生まれ、安心して生活ができると感じる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	